

⑭ 恵那市三郷町「みさと愛の会」

み さ と

活動拠点：恵那市三郷町野井公民館
〒509-7123 恵那市三郷町野井1987-2
会 長：宮地 政臣 副会長：坪井弥栄子

地区の概要

三郷町は、恵那市の西部に位置する人口2,494人、858世帯、高齢化率33.68%（平成27年4月1日現在）、中央アルプスが眺望でき、雄大な田園風景を誇る町である。三世帯同居が多く、地域住民で支え合って地域を守っていくという気持ちが昔から引き継がれており、住民同士のつながりが強い地域である。「みさと愛の会」は、少子高齢化の進展・生活環境の多様化が進む中、高齢者にとっても、また、子どもを持つ若い親世代にとっても暮らしやすい地域を目指し、住民同士の支援活動に取り組んでいる。

主な特色

1 高齢者の暮らしをお手伝い（高齢者軽度生活支援事業）

高齢者にとって負担を感じる、ごみの搬出、簡単な修繕、自宅周りの庭木剪定や草刈りなどをお手伝いする生活支援を行っている。会員登録制をとっており、ボランティアとして協力できる人を「ボランティア会員」、生活支援を受けたい人を「依頼会員」、仕事の都合や家庭の事情で手伝うことができないが協力金という形で支援する人を「賛助会員」として、それぞれ会員を募集している。手ごろな利用料を取り、ボランティア会員は交代制で仕事を分担している（26年度の実績はおよそ100回）。



暮らしのお手伝いの様子

2 介護予防のためのいきいき教室（生きがい活動通所事業）

市から介護予防を目的とした事業として、地域福祉ボランティア団体では初めての委託を受け、家に閉じこもりがちな独居・昼間独居の高齢者を対象に、心身の健康増進と交流の機会を提供するため、公民館まで送迎付きで週に1回いきいき教室を開催している。活動内容は、お茶を飲みながらおしゃべり、健康体操、レクリエーションや手芸など。利用者は毎週およそ30名程度。参加する利用者からは、毎回のこの日が待ち遠しい、みんなと会えて楽しい、教室に参加してから体調が良くなったなどの声が寄せられている。副会長の坪井さんは、「介護保険を使わなくて済む元気な高齢者を増やしていきたい。要支援者や要介護度2以下の人はこれから地域が受け皿となっていくと見込まれるので、こうした活動は今後、どの地域でも必要となっていくと思う。」と話している。



いきいき教室の様子

3 学童保育事業（みさとっこCLUB）

「地域の子どもは地域で育てる」という思いのもと、子どもを持つ若い親世代が安心して仕事に専念できるよう、授業が終わった子どもたちを保護者が迎えに来るまで、指導員の指導のもとで預かっている。子どもは宿題をしたりおやつを食べたりして過ごしている。夏休みなどの長期休暇にはバーベキューやイチゴ狩り等も実施している。利用者が増えてきているため、サポーター1人当たりの負担が大きくなっており、保育士・教員資格を有する方など、サポーターの人員確保が課題となっている。



みさとっこCLUBの様子（夏休み）

ポイント 自分たちの手で自分たちの地域を住みやすくしようという住民主体の助け合い

地域の中で支援ができる（したい）人と支援を受けたい人をつなぎ、地域住民が助け合える仕組みが作られている。「みさと愛の会」のスタッフの皆さんは、自分たちの手で事業を企画して活動していることにやりがいを感じ、自分たちの地域を住みやすくしようと積極的に取り組んでいる。ボランティア会員やスタッフを確保・育成し、住民同士の助け合いの取組を継続・充実させ、いつまでも安心して暮らし続けられる地域づくりを目指している。

今後の展望

今後、地域の高齢者にとっても、子どもを持つ若い世代にとっても支援のニーズは高まり、利用者が日に日に増えていくことが予想される。活動を継続・充実させていくためには、サービスを提供するスタッフやボランティア会員を確保していくことが必要である。活動の意義ややりがいを地域の住民で共有し、地域全体で支え合う取組に広げていくことが求められる。

ぎふ地域の絆づくり支援センターからのお知らせ

「地域リーダー育成講座」を開催しました

地域活動団体の役員や地域活動に関心のある方を対象に、「地域住民をまとめ活動をリードしていくことができる人材の育成」をテーマとした3回連続（11月18日、12月2日・16日）の実践的な講座を高山市で開催しました。ファシリテーションのポイント（議論の広げ方と収め方、記録による議論の見える化、参加者の役割分担など）や、発想を広げる手法としてのワールドカフェ、住民が参加したくなる会議を作るために必要な要素・準備などについて、ワークショップを通じて体験的に学びました。



講座の様子